

避難所における

新型コロナウイルス感染症対策

避難所でのコロナ感染を防ぐには、
一人一人の意識が大切です！

1. 避難所での対策

- ① 問診と検温の実施
- ② 避難者名簿への記入
- ③ マスク着用の徹底
- ④ 手洗い、咳エチケットの徹底
- ⑤ 避難者同士の間隔の確保
- ⑥ 十分な換気の実施
- ⑦ ドアノブなどの消毒の実施
- ⑧ 体調不良の申し出の徹底
- ⑨ 発熱など風邪症状がある人の専用スペースの確保

※地域で自主避難所を開設される場合にも①～⑨に準じた感染症対策を行ってください。



2. 避難される ときのお願ひ

① 健康状態の確認

避難の前には、身の安全を確保した上で、必ず体温を測り、健康状態を確認してください。

発熱などの風邪症状のある人は、避難所内の専用スペースに避難していただきますので、必ず避難所の受付で申し出てください。

② 避難所での問診と検温

避難所受付での問診や検温で混雑が予想されますが、感染症対策として必要ですので、ご理解とご協力をお願いします。



③ 持参品

他の人との共用を避けるため、避難所で使う物は持参してください。

【全員が持参する物】

1. マスク
2. 体温計
3. 除菌シートなど
4. タオル・ハンカチ
5. 上履き(スリッパや体育館シューズなど)
6. 筆記用具(問診表などへの記入のため)
7. 飲料水と軽食
8. 毛布や上着など



【体調不良の人は必ず持参する物】

9. 常備薬とお薬手帳
10. 健康保険証

※非常持出品については、次ページも参考にしてください。

④ 親戚や知人の家などへの避難の検討

避難先は小中学校や公民館など市が設けた避難所だけではありません。

密閉、密集、密接の「3密」を避けるため、安全な地域にお住まいの親戚や知人の家などへの避難も検討してください。



新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、梅雨や台風による災害が起きやすい季節を迎えました。

大規模な風水害や地震が発生した場合、避難所での感染リスクを避ける必要があるため、本市では「避難所における新型コロナウイルス等感染症対策指針」により、市職員による問診のほか、物の共用を避けるため市民の皆さんに準備していただきたい持参品などを定めています。

自分だけでなく周りの人も感染症から守るため、皆さん一人一人が感染症対策に取り組んでいただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

図3階、危機管理課

(026)651100

いざという時のために備えておきましょう

災害時に備えて、自宅から避難する際に持ち出す「非常持出品」を準備しておきましょう。

非常持出品の例

携帯電話と充電器	モバイルバッテリー（予備の電池）があると便利
懐中電灯	予備の電池も用意
携帯ラジオ	AM・FMの両方を聴けるもの、予備の電池も用意
飲料水	ペットボトル入りの水やお茶など
非常食	乾パンやクラッカーなど、火を通さず食べられる物
救急医薬品	常備薬、お薬手帳、マスク、体温計など
衛生用品	ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、消毒液、せっけんなど
貴重品	現金、健康保険証、免許証
衣類	上着、下着、靴下、タオル、ハンカチ、上履き（スリッパ、体育館シューズ）など
その他	筆記用具、メモ帳、毛布、ポリ袋など



※非常持出品は、リュックサックなどの両手が使える袋に入れましょう。

※高齢者や乳幼児、慢性疾患のある人などは、状況に応じて必要なものを準備しましょう。